

Real Ability

令和8年になって最初の校長通信となります。前回お伝えしたとおり、私は7日(水)から11日(日)に、4泊5日という日程で韓国の蔚山科学高校を訪問してきました。韓国は日本よりも寒いと覚悟していたのですが、実際は千葉と比べて「とんでもなく寒い」というふうには感じませんでした(つまり、千葉もけっこう寒いということ…)。

さて、ふと気が付くと、今週末はいよいよ大学入学共通テストです！受験する皆さんには、ぜひ自分の実力を存分に発揮してもらいたいので、いくつか直前アドバイス！

1. 特別なものを食べたり飲んだりしない！⇒慣れたものがベスト！
 2. リズム！⇒少なくとも今日から、前日に寝る時間に寝る、当日起きる時間に起きる！
 3. それでも前日眠れなかった… ⇒心配無用！
 - (1) 1日くらい寝なくても、頭の働きには影響ない！
 - (2) 実は、目を閉じているだけでも、脳は回復している！
 - (3) 休み時間等にウトウトするだけでも、かなりスッキリする！
 4. ナゾの自信を！

「不安なのはみんな同じ！不安じゃない人なんていない！」

「自分が解けない問題は、他の人も解けない！」
 5. 「共通テストは、入試の“始まりに過ぎない”！」という認識を！
- ⇒**本当の勝負は2月以降！**

さらに補足しますと、「自分に過度に期待しない」、ということも大切です。先ほど「実力を発揮してもらいたい」と書きましたが、そもそも「実力」って、何でしょう？

× その人の「MAXの力」

○ その人の「**再現可能な最低限の力**」

と考えるのが適切です。例えば野球のピッチャーの場合、どんなに緊迫した場面でも、120kmくらいのスピードであれば必ずストライクがとれる、ということであれば、120kmというのがその人の「実力」です。たまに調子いいと150km出るからと言って、それが「実力」だと勘違いすると、本番でうまくいかないものです。

まずは冷静に自分の実力を見積もっておくことが、今後(あくまでも本当の勝負は2月以降！)に生きてくると思います。

さて、1・2年生のみなさん。みなさんにとって、冬休み明けから終業式までの課業日はわずか46日しかありません。しかも、2月には入学者選抜(高校入試)があるので、半日課の日が非常に多くなります。どうですか、これは、ほとんどの人にとって嬉しいことですよ？「今から遊ぶ計画を立てておこう！」と張り切っている人もいるかもしれませんが…こういうときに他の人よりも努力を積みめば、1年後、或いは2年後に、間違いなく「実」に

なって表れてきます！まさに「アリとキリギリス」の世界です！苦手科目克服など、ふだんの学校の勉強に力を入れるのももちろん良いですし、英検等の資格・検定に向けた準備をするのにも非常に適した期間です！

【おまけ】 韓国訪問で気づいたこと等

1 蔚山科学高校（USHS）の施設・設備は、トンデモナイ！

…市千葉も、日本の高校としては相当に恵まれています…USHSは、大げさでなく、大学並みの施設・設備でした（しかも最新鋭！）。USHSは蔚山市立の学校ということなのですが、やはり韓国は教育にける意欲が日本とは違うなと実感しました。

※ 但し、学費は高いようです。公立でも学費は異なるのでしょうか。

※ お金をかける分、子供たちにかかるプレッシャーも相当なものだと思います。

※ 但し、USHSの生徒はとても人当たりが良く、ノリも良いので、高校生活を十分に楽しんでいるように見えました。

2 料理は…基本、Spicy！

…味付けは基本、ピリ辛。逆に言うと、塩分が足りないような感じを受けました。摂り過ぎは良くないのですが、やはり日本人は塩分に慣れ親しんでいるなと改めて思いました。

※ 余談ですが、韓国では「揚げ物」があまり出ないなという印象を持ちました。

学食、ホテルのビュッフェ等、日本だとコロッケや○○フライ、から揚げ等が必ず出そうなものですが…一切出ませんでした…。

3 やはりSecurityは厳しい！

…これもある程度は想定していましたが…釜山（プサン）市の金海（キメ）国際空港に到着し、キャリーケースを受け取る場所で○○先生が記録用に写真を撮っていたところ…おじさん（警備員のような恰好ではない）が近寄ってきて、「デリト、デリト」と言ってスマホを覗き込み、写真を消去させました。「デリト」はもちろん「delete」だったのでしょうが…それにしても、極めてツツケンドンな態度でした。仮に同じようなことを日本の警備の人がやるなら、「申し訳ありませんが、撮影は禁止となっておりますので、写真は消去してください」というくらいなことは言うような気がするのですが…。

※ 因みに、税関や両替の係の人なども、「ニコリ」ともせず淡々と仕事をこなしていくので、こちらとしては「えっ、なんかマズイことしたかな…」などとちょっと不安になることがありました。これはおそらく、韓国の方々が冷たいのではなく、日本人の愛想のよさの方が国際基準「外」なのでしょう。